

とびっく 待望の駐輪場のリニューアルを二カ所で行う！
※詳細は4ページ事務局便りに掲載

NPO **BEEN**

特定非営利活動法人 自転車環境創造ネットワーク

〒108-0072
東京都港区白金2丁目地先
白金高輪バイクイン内
事務局 TEL : 03-5793-4340
FAX : 03-5793-4347

冬季号

2016. 12. 31

ビーン 杉並区内の全小学校と幼稚園に

児童図書「わるいのはじてんしゃ？」

図書を
470冊贈呈

杉並区内で自転車駐輪場の運営管理をしているNPOビーンでは、駐輪場収益金から必要経費を差し引いた余剰利益を啓蒙活動などで地元に還元してきました。

ことしは、自転車によって得た収益は自転車に関連したことに還元しようと、杉並区と協議を進めた結果、児童図書「わるいのはじてんしゃ？」を区内の全小学校41校と幼稚園（幼稚園）に各10冊合計470冊を配布することになりました。

この児童図書の内容は、自転車にのりはじめたばかりの仲の良い元気な兄弟が、ある日、小さな女の子と接触し、軽い怪我を負わせる事故を起こしてしまいます。交番のおまわりさんから「自転車は自動車などと同じだから、たとえどんなに小さな事故でも、その責任は自転車に乗っていた人もあります」と注意され、兄弟が自転車に乗るときの責任の重さを自覚するストーリーで構成されています。

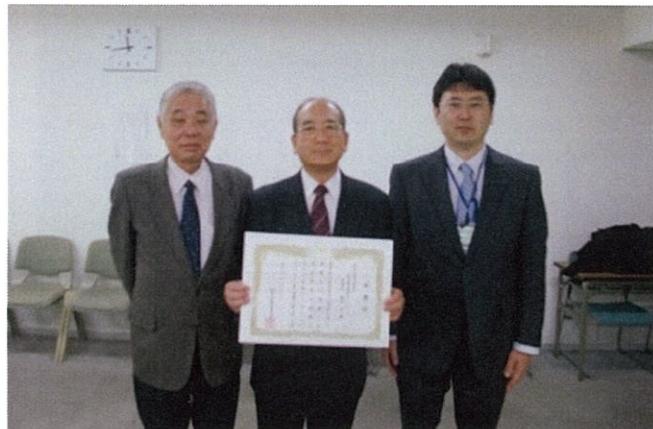
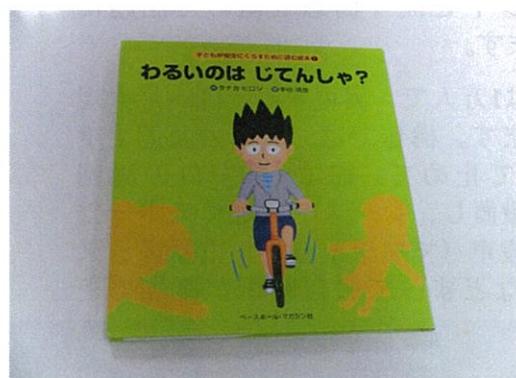
小さいころから自転車を遊具として育った小学生は、ルールやマナーについて学ぶ以前に、自転車は自動車などと同じ車輛だから、乗る人には責任があるという自覚を持たせる

ことが大切です。その上で、ルールやマナーを学ぶことの重要性をこの本は、伝えています。ぜひ、親子で読んでいただきたい児童図書です。

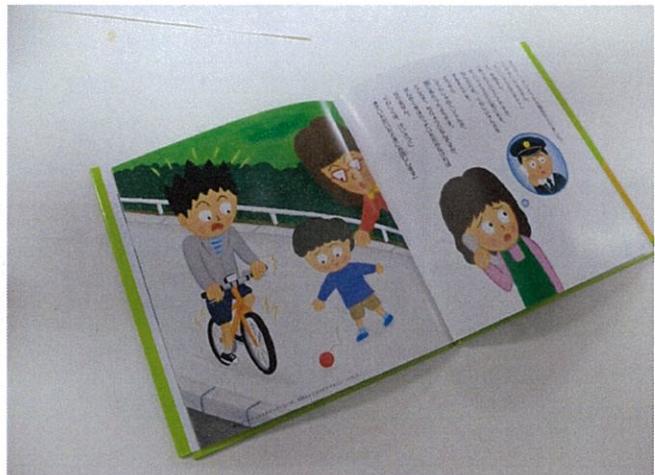
NPOビーンでは、自転車駐輪場の管理運営をするとともに、違法駐輪防止の啓蒙活動などを進めてきましたが、あわせて地域における自転車のルール、マナー意識の向上についても貢献することで、より安全で快適な自転車環境を創造する活動を推進していくことを考えています。

児童図書「わるいのはじてんしゃ？」寄贈にたいして、杉並区教育委員会よりNPOビーンに感謝状が授与されました。

「わるいのはじてんしゃ？」
本文(下) 表紙(上)と



杉並区教育委員会事務局
岡本庶務課長（右）と感謝状授与の記念写真。



環境政策で、自転車活用に注目している東京都の小池知事

小泉内閣の時に、環境大臣（2003年～2006年）として、2005年、夏の軽装化キャンペーン「クール・ビズ」で旗振り役をつとめた経験をもつ小池知事が、東京都では環境政策を成長の柱としてすえています。

そのなかで「自転車の活用」に改めて注目したいといっています。

自転車が、より安全に回遊できる道路を連続させる自転車ネットワーク化の推進。またすでに都内4区で実施され、新宿区もあらたにスタートするバイクシェアリングの普及拡大のために、初期投資の財政支援などに積極的に取り組んでいく方針を示しました。オリンピック会場の建設費などで、マスコミを賑わしていますが、小池知事の発言は、2020年の東京五輪・パラリンピックにむけ自転車活用に弾みがつくと期待が高まっています。

都内で進められる自転車専用道路



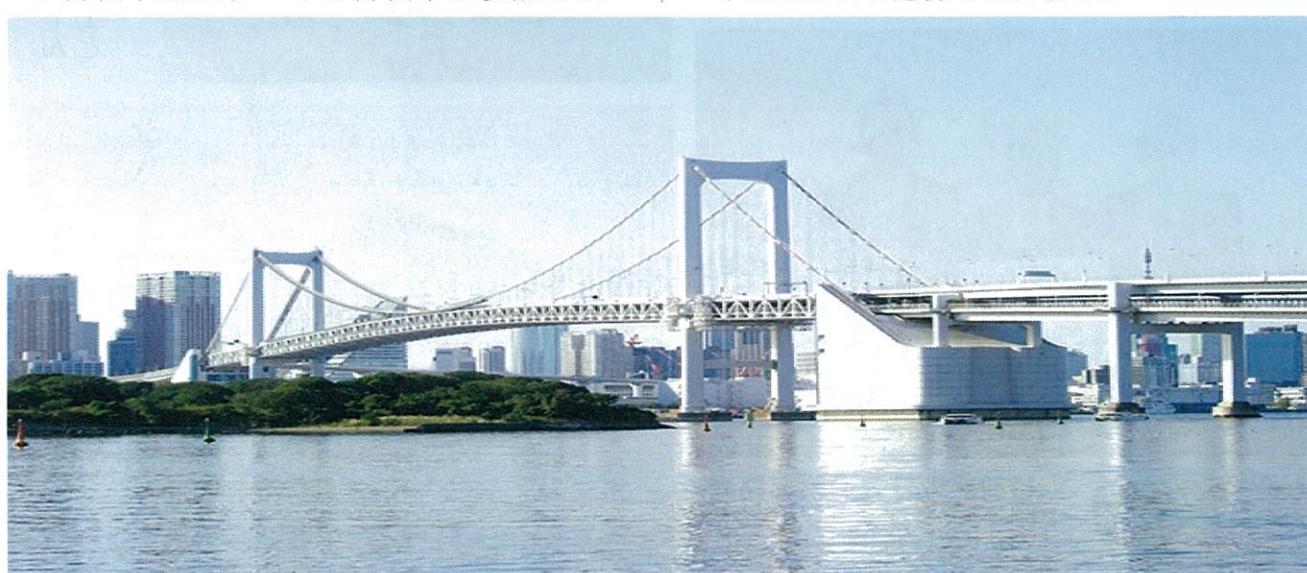
実現するか？1万人参加の都内サイクリングツアー

自転車愛好家でつくる団体「TOKYO BIKE TOURを実現する会」が、2018年の5月5日に、都心で公道を走る大規模なサイクリングのイベントを開く構想を温めて話題になっています。

参加者は1万人で、実現すると国内最大規模になります。構想では、都内の公道で車両をすべて止めて、約40～50キロの周回コースを設置し、レースではなくスポーツ車から一般車（ママチャリ）、電動アシスト自転車などすべての自転車が参加でき

て、自転車の魅力を再認識して、健康維持や環境保全への意識を高めもらうことについています。

現在「TOKYO BIKE TOURを実現する会」ホームページ (<http://www.biketour.tokyo/>) で参加希望者へのアンケートで、走りたいコース（レインボーブリッジや首都高速など）を募集しています。たくさんの参加希望者の意見をもとに東京都と交渉することになっているので、実現にむけてアンケートにどしどし応募しましょう。



●1年間に5万件を超える都内の自転車盗難

警視庁の発表によると、27年度に都内で発生した自転車の盗難件数は約5万1千件でした。前年よりも約5千件減少しましたが、依然として高い水準にあります。自転車の盗難は軽く見られがちですが、盗まれると通勤、買い物などに影響が出るだけでなく、ひったくりなどの犯罪に使われる危険性もあります。自転車盗難の発生場所でもっとも多かつ

たのが住宅の敷地内や駐車場で、敷地内だからといって安全ではありません。次に多いのが路上駐輪です。

警視庁では、路上に放置せず防犯対策が整備されている駐輪場を利用すること、わずかな時間でも自転車から離れるときには鍵をかけること、さらに自転車の防犯登録など防犯対策を呼びかけています。



まだまだなくならない放置自転車



盗難されにくい馬蹄型の鍵（警視庁のホームページから転用）

自転車盗認知件数の推移



ページから転用
警視庁のホームページ

あらためて求められる「自動車」の運転マナー

J A F（日本自動車連盟）が2016年8月から9月に行った調査で、「信号機のない横断歩道で歩行者が渡っていても、9割のドライバーが一時停止をしていない」ということが分かりました。全国94カ所の信号機のない

横断歩道で、1万台あまりの車を調査したのですが、その内一時停止をしたのは1割以下で、9割を超える車が一時停止をしていませんでした。横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいる場合、ドライバーは手前で一時停

止しないと道路交通法に違反する疑いがあります。自転車と車の事故は、信号機のない交差点で多く起きているという報告もあります。自動車優先の意識が依然として強いことが、事故発生につながっているではないかと考えられます。

自転車でアメリカ西部を走る

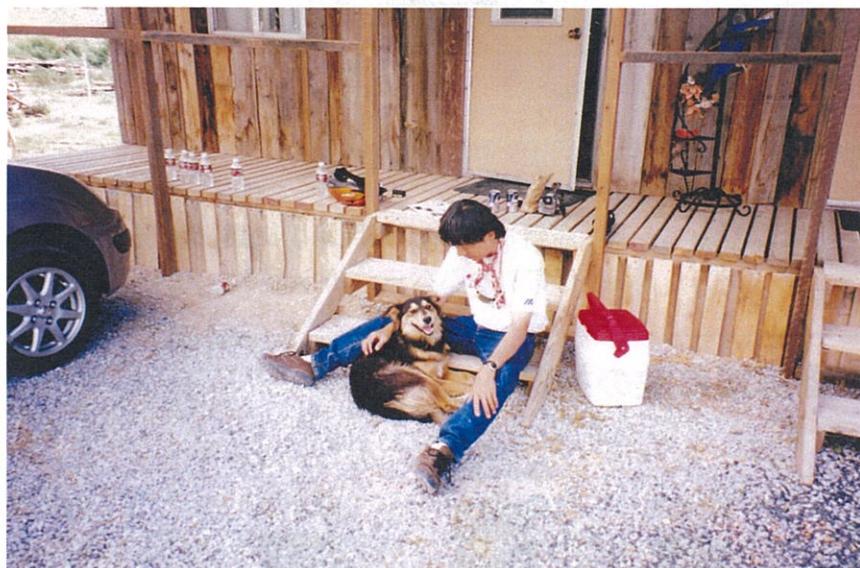
3

出水

豊

「そうだ、自転車を新しい交通機関ととらえるんだ。運転免許を持っていない人にとっての自動車の代用品なんかじゃない。地球温暖化を防ぎ、運動不足から人々を守るために新しい時代の旗手なのだ」。そう思っただけでなく、声高に全国へ呼びかけた結果、同志が集まり、資金が集まり、自転車が提供された。

子供の頃乗っただけの自転車だったが、長男の望も仲間に引っ張り込み、素晴らしいスポーツ車でトレーニングのため全国を走り



回った。瀬戸内にかかった「しまなみ海道」もオープン早々にテレビの取材車に追われて走った。正月には都内の七福神回りをして、ついでに小石川の貧乏神にもお参りした。若いサイクリストも避けると言われる信州八ヶ岳のアップダウンも駆け抜けた。

まだ67歳の若さだったからか、脚力、視力、判断力、瞬発力はメキメキと上達、日本国内、太平洋と順調に走り通して、いよいよラストステージのアメリカだ。

シエラ・ネバダ山脈の鞍部、標

高2600mのカーソン峠から一気に2000m以上を下るダウンヒルはまさに快適、と言うより命がけ。○

○蛇におじぎだ。ガードレールのない道の遥か右下に川が流れている。小石1個に乗り上げただけで壮大なダイビングになってしまふ。カリフォルニア州境の看板に着いた時、両手の指が伸びなくて、ハンドルグリップから指をはがすのが大変だった。

着いたのはネバダ砂漠。原爆実験で有名な所だ。水はなく、草木もまばら。夜になるとコヨーテ(アメリカオオカミ)やクーガ(アメリカライオン)が出てくる。寝るのはお伴につけたキャンピングカーの中。でも3日おきくらいにオアシスの町に着く。ここには小さなモーテルがある。シャワーが浴びられ、ビールのバドワイザーもある。まさに天国だった。なぜかすぐ動物に好かれる息子は、どこででも番犬になつかれてご満悦だった。

(つづく)

事務局便り

待望の駐輪場のリニューアルを二カ所で行う！

東京都世田谷区用賀の「世田谷ビジネススクエア」第1駐輪場から第4駐輪場(710台)のうち第1、第2の393台を3月と5月にかけて2回に分けてリニューアルした。第1を3月2日から18日の2週間、第2を5月25日から6月14日に2週間かけて実施した(写真左2枚)。



大阪府寝屋川市香里新町の「ライフ香里園」を7月に2週間をかけ自転車200台、バイク24台リニューアルを実施した(同右2枚)。

※いずれの写真も上が改修前、下が改修後

